



～未来に向かい、学びをつなげる～

～「笑顔と安心」を土台とした、9年間の一貫・系統・連続へ～

<目指す教師像>

- 生徒の確かな変容を促す実践的指導力を培うため、日々研修に努める教師
- 生徒の視点に立ち、生徒・保護者・地域・仲間から信頼される教師
- 社会の変化を的確に把握し、将来を見据えた教育に対応できる教師

<目指す子ども像>

- 自ら学び、進んで考え、課題解決にせまる判断力や表現力にあふれる生徒（知）
- 思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いに認め合い・励まし合い・高め合う生徒（徳）
- 途中で屈しない精神力とたくましい身体で粘り強く努力する生徒（体）
- 目的意識を持ち、自己実現を目指して主体的に行動しようとする生徒（意志）

<目指す15歳の姿>

- 確かな学力を身に付ける
- 失敗を恐れずに挑戦する
- 相手に伝わるように自分の考えを表現する
- 他者の大切さを認め多様な意見や考えを尊重する
- 粘り強く物事をやり遂げる
- 自ら判断する

取組の柱1 学力向上

対話を通した思考・探求のある授業への改革、
「学びのユニバーサルデザイン(UDL)」を生かした資質・能力の確実な定着

- 「主体的・対話的で深い学び」の授業改革 ■基礎・基本の確実な定着とアウトプットの充実
- UDL教育の推進、家庭学習の充実 ■教科横断的な力を生かす総合的な学習の充実

取組の柱2 人格形成

全校・学級・生徒会・部などそれぞれの空間で、
安心・安全な生活と認め合い協働できる関係づくり

- どの子も安心できる居場所づくり ■考え・議論する道徳教育 ■コミュニケーション力の強化
- 認め合い・支え合う人間関係作り ■教育的ニーズに応じた支援

取組の柱3 心身の活性

体力と心の健康を育み、
安心感・信頼感など心理的安全性があり、自分自身を表現できる学校

- 体力・運動能力の向上 ■望ましい生活リズムと心身の健康づくり
- 食に関する指導を通した心身の健全な発達の促進

取組の柱4 社会と共に 生きる力を

こども園・小学校とつながる義務教育学校の教育課程編成に、
教職員・町民のひとりとして携わり、学校の新たなステージへの取り組みを進める。

- 「12年間での学び・育ち」を意識した幼小中一貫教育

教職員集団として方向性をそろえ、一人一人の創意と工夫を生かし、
新たな価値や合理的な方策など、課題解決を図る方策を見いだし実践する。

- 学びの専門家としての教師力の向上

学校運営への参画を通して、同僚性の向上と心理的安全性を高め、
教職員相互の業務改善・適正化と、教育活動に対する実効的な働き方改革を推進する。

- 教育の質の向上を図る働き方改革 ■教育環境の整備

家庭や地域等との連携「開かれた学校づくり」と連携による相互補完の推進

- 地域の特色や教育力を生かした学校づくりの推進
- 家庭・地域との連携協働 ■服務規律の保持とリスクマネジメントの確立

「家庭・地域から信頼される学校づくり」
「社会に開かれた教育課程の実現」
「願う未来となりたい自分につながる共育」
の実現